

## 広報課からのお知らせ

**テレビ** テレビ和歌山 WTV

**きのくに21** 日曜 9:30・(再) 18:30  
3月 4日 “テレワーク”で変わる働き方  
3月11日 和田勇シンポジウム  
～東京にオリンピックを呼んだ男～  
3月18日 WAKAYAMA800  
～サイクリング王国わかやま～  
3月25日 知事と語る

**県民チャンネル** 月・火・木・金・土曜 21:55

**マンスリー県政 ニュースワイド**

毎月最終金曜 19:29～19:58

**ラジオ** 和歌山放送 WBS

**県庁だより** 毎日 11:40・(再) 18:00

※土・日曜は再放送がありません。

**ラジオでお届け!県政最前線** 火曜 15:40～16:00

放送内容・時間は都合で変更する場合があります。



## きいちゃんデザイン 使いませんか?

県では、「きいちゃん」が多くの皆さんに愛されるように、あいさつきいちゃん キャラクターデザイン(標章)の利用を受け付けています。無償で利用できますので、希望される方は、WEBサイトに掲載しているデザインガイドマニュアルをご覧ください。事前に申請してください。

問:県庁広報課 ☎073-441-2032

和歌山県広報課 🔍

きいちゃんのデザインは、スポーツはもちろん、“あいさつ”や“おもてなし”といった県民運動や、県内市町村のご当地きいちゃんなど、約250種類。ぜひご利用ください!



田辺市のご当地きいちゃん

広告 県収入の一部とするため有料広告を掲載しています。県庁広報課 ☎073-441-2032

知事メッセージ

県民の皆様へ

## 自分がやったらチャンス、 人がやったらピンチ



先日、日本政策金融公庫の取引先の中小企業の会である中小企業懇話会が開かれ、恒例の講演会で通商産業省事務次官などを歴任された堤富男企業活力研究所会長が講演されました。私より12年も年長なのですが、さすが、最新の世界情勢や技術動向が包括的に、かつ自身の考えと言葉でまとめられていて、中小企業の方々にとって大変有意義な講演であったと思います。

その中で一番印象に残ったのは、「日本を取り巻く各国の発展は著しい。ということは、市場が急成長しているのだから、これに挑戦しない手はない。技術革新も著しいが、それを自分のものにすれば大成長も期待できる。しかし、世界中がライバルだから、企業経営者にとって自分がそれをやったらチャンス、人が先にやったらピンチということだ。『事業を取り巻く環境は変化が激しく』などと口で言うばかりで様子見をしていたら危ない。」ということでした。

私はその通りだと思います。

和歌山県は、それを見越して、自分でやろうとする人を助ける産業政策体系をどこにも負けないくらい作り上げてきました。それをPRし、産業界と相談する体制も作りつつありますし、最近はその材料としてIT環境下で一目瞭然にそれが分かる「わかやま企業応援ナビ」も作りました。

また、産業競争力の基盤条件である高速道路網などのインフラの整備も、もうそろそろ他と遜色がないかなというぐらいの所まで来ました。

しかし、一番肝心なのは、事業者やこれから事業をしようとする人の企業家精神であり、挑戦する意欲であり、野心であります。

確かに環境の変化は大変なものでありますが、それは世界共通の条件です。県の施策などをうまく活用しながら「自分がやって」チャンスをつかんでくださることを祈るばかりです。

ゆめゆめ、大変大変と恐れてばかりいたり、世を嘆いてばかりいるうちに、「和歌山以外の人に先にやられてピンチ」にならないように。それは和歌山のピンチですから。

和歌山県知事 仁坂 吉伸